

第2期

かほく市創生総合戦略推進計画

(令和2年度～令和6年度)

【新旧対照表】

令和2年9月改訂

【目 次】

○第2期かほく市創生総合戦略推進計画 改訂

- ・ 本文改訂 1
- ・ 具体的施策改訂 3

第2期かほく市創生総合戦略推進計画 改訂 新旧対照表

基本目標	基本方針	新（改訂後）	旧（改訂前）	備考
3.若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	(1)安心して子育てできるサポート体制の充実	○特に安心して子どもを預けることができる環境の充実は、共働きが多い現在では 保護者の負担軽減だけでなく、子どもの居場所を確保するという観点からも非常に重要 となっています。	○特に安心して子どもを預けることができる環境の充実は、共働きが多い現在では非常に重要となっています。	追加 P1-25 ※ページ下段基本方針の2番目
4.安心して暮らすことができる、魅力あるかほく市をつくる	— (2)市民の健康と生きがいの創造	◆特に、近年顕著化する自然災害に加え、 感染症対策などの新たなリスク への対応や、さらなる高齢化を見据えた健康寿命の延伸、地域の交流活動の充実などが課題となっています。 ○ 高齢化が進行している中、健康づくり活動を継続的に実施していくため、感染症の拡大防止と高齢者の孤立防止双方の両立を図りながら、高齢者の生きがいや活動の場を創出していくことが重要です。	◆特に、近年顕著化する自然災害への対応や、さらなる高齢化を見据えた健康寿命の延伸、地域の交流活動の充実などが課題となっています。 ○今後のさらなる高齢化が想定される中、全ての市民が健康で暮らし続けることができるように、普段から健康に気を配り、健康づくり活動を継続的に実施していくことが重要です。	追加 P1-28 ※ページ上段四角囲み内の2番目 修正・追加 P1-30 ※ページ上段1番目

第2期かほく市創生総合戦略推進計画 改訂 新旧対照表

基本目標	基本方針	新（改訂後）	旧（改訂前）	備考
横断的目標	多様な人材の活躍を推進する	改訂なし	-	
	新しい時代の流れを力にする	改訂なし	-	
		<p>2) 横断的な施策の推進に関して5つの基本目標の実現のために、これらの目標を横断的に実現するための施策として、国の第2期総合戦略における方針等を踏まえ、2つの横断的目標を掲げるとともに、感染症の克服のため、新しい生活様式の実現を横断的目標に加える。</p>	<p>2) 横断的な施策の推進に関して5つの基本目標の実現のために、これらの目標を横断的に実現するための施策として、国の第2期総合戦略における方針等を踏まえ、以下の2つの横断的目標を掲げます</p>	追加 P1-12
	<p>新しい生活様式を実現する 【追加】</p>	<p>【かほく市における横断的目標】 横断的目標1：多様な人材の活躍を推進する 横断的目標2：新しい時代の流れを力にする 横断的目標3：新しい生活様式を実現する</p> <p>①多様な人材の活躍を推進する：関係人口の増加、多様なひとひとの活躍による地方創生の推進など ②新しい時代の流れを力にする：地域におけるSociety5.0の推進、地方創生SDGsの実現など ③新しい生活様式を実現する：3密対策など感染症に強い環境整備、新たな暮らしのスタイルの確立など</p> <p>◆感染症の拡大に伴い、市民生活・地域経済に甚大な影響が出ている情勢を鑑み、市民の命を守ると同時に危機に強い地域社会の構築を図るため、感染症の克服など時代の変化に対応することが重要です。</p> <p>◆そのため、5つの基本方針全てに関連する横断的施策として「多様な人材の活躍」、未来技術の活用やSDGsに関連する「新しい時代の流れ」及び感染症の克服として「新しい生活様式の実現」を、積極的に推進するものとします。</p>	<p>【かほく市における横断的目標】 横断的目標1：多様な人材の活躍を推進する 横断的目標2：新しい時代の流れを力にする</p> <p>①多様な人材の活躍を推進する：関係人口の増加、多様なひとひとの活躍による地方創生の推進など ②新しい時代の流れを力にする：地域におけるSociety5.0の推進、地方創生SDGsの実現など</p>	追加 P1-12
	<p>新しい生活様式を実現する 【追加】</p>	<p>◆感染症の拡大に伴い、市民生活・地域経済に甚大な影響が出ている情勢を鑑み、市民の命を守ると同時に危機に強い地域社会の構築を図るため、感染症の克服など時代の変化に対応することが重要です。</p> <p>◆そのため、5つの基本方針全てに関連する横断的施策として「多様な人材の活躍」、未来技術の活用やSDGsに関連する「新しい時代の流れ」及び感染症の克服として「新しい生活様式の実現」を、積極的に推進するものとします。</p>	<p>◆そのため、5つの基本方針全てに関連する横断的施策として、「新しい時代の流れ」及び未来技術の活用やSDGsに関連する「新しい時代の流れ」を、積極的に推進するものとします。</p>	追加 1-14 ※上段横断的目標部分
				追加 1-15 ※上段四角囲み3段落目
				追加 1-15 ※上段四角囲み4段落目
				追加 1-16

第2期かほく市創生総合戦略推進計画【具体的施策】改訂 新旧対照表

基本目標	基本方針	具体的施策		備考
		新（改訂後）	旧（改訂前）	
1.かほく市に安定した雇用を創出し、安心して働くようになる	(1)企業誘致による成長の持続	<p>【事業名】 戦略的な企業誘致の推進 【事業概要】 かほく市内において、工場・事業所を新増設した企業や、本社機能転移する企業に対しての助成を行う。また、かほく市への企業進出ニーズに 대응するための事業所用地確保や産業立地に向けた施策を積極的に展開するとともに、サテライトオフィスやテレワークなどの新しい働き方への対応を進め、市内における安定した雇用の場の創出を図る。</p>	<p>【事業名】 戦略的な企業誘致の推進 【事業概要】 かほく市内において、工場・事業所を新増設した企業や、本社機能転移する企業に対しての助成を行う。また、かほく市への企業進出ニーズに 대응するための事業所用地確保や産業立地に向けた施策を積極的に展開するとともに、企業向けに各種助成制度のPRを行う。また、市内における安定した雇用の場の創出を図る。</p>	修正・追加 P1-18
		改訂なし	<p>【事業名】 かほくで創業するとこんないいことありますよ 【事業概要】 創業者が事業に順調に滑り出すことができるとともに、金融機関とも連携を図りながら、利子補給補助や創業準備費補助等の支援を行う。特に若者や女性の起業に対しては、さらなる上乗せ補助を行う。また、市内の起業者のチャレンジ意欲の向上を図る。</p>	
		<p>【事業名】 空き家・空き店舗の活用による賑わいの創出 【事業概要】 空き家・空き店舗の活用を促進し、地域の活性化や賑わいの創出を図るため、空き家等に転居する個人や法人に対し物件購入費、設備導入費、物件改装工事費等に要した経費の一部を補助金として交付するとともに、県外の法人等が市内の空き家等を活用し、サテライトオフィスを開設する際の支援も検討する。また、市内の賑わい創出に資する情報収集や情報発信について、金融機関をはじめとした民間企業との連携を図るとともに、本補助事業を活用した方のネットワーク構築についても検討する。</p>	<p>【事業名】 空き家・空き店舗の活用による賑わいの創出 【事業概要】 空き家・空き店舗の活用を促進し、地域の活性化や賑わいの創出を図るため、空き家等に転居する個人や法人に対し物件購入費、設備導入費、物件改装工事費等に要した経費の一部を補助金として交付するとともに、県外の法人等が市内の空き家等を活用し、サテライトオフィスを開設する際の支援も検討する。また、市内の賑わい創出に資する情報収集や情報発信について、金融機関をはじめとした民間企業との連携を図るとともに、本補助事業を活用した方のネットワーク構築についても検討する。</p>	修正・追加 P1-18

第2期かほく市創生総合戦略推進計画【具体的施策】改訂 新旧対照表

基本目標	基本方針	具体的施策		備考
		新 (改訂後)	旧 (改訂前)	
1.かほく市に安定した雇用を創出し、安心して働けるようにする (2) 地域産業の成長の戦略化		【事業名】 かんばる中小企業に対する支援事業 【事業概要】 商工業の振興のため、市内の中小企業者へ助成制度を提供する。従来の新製品開発事業や特許権取得・設備投資促進事業への助成に加え、ローカル5G整備などの先進技術導入及びキャッシュレス決済、テレワーク環境の導入といった新しい生活様式への対応や両立に向けた投資についても助成対象とするなど、新たな取り組みを創出する。	【事業名】 かんばる中小企業に対する支援事業 【事業概要】 商工業の振興のため、市内の中小企業者へ助成制度を提供する。従来の新製品開発事業や特許権取得・設備投資促進事業への助成に加え、ローカル5G整備などの先進技術導入についても助成対象とするなど、新たな取り組みを創出する。	追加 P1-19
		【事業名】 地域農産物ブランド化事業 【事業概要】 激化する農産物の産地間競争に対応していくために、地域農産物ブランド化事業や、新たな販売・販路の拡大に意欲的に取り組む事業実施者に対して支援を行う。さらに、大都市圏におけるニーズ動向をリアルタイムで反映しているよう、都市部におけるリモート等でブランド力向上に参画できる仕組みづくりや、ブランド力を活かしたイベント開催、全国各地のイベントへの参加など、各ブランド品目のPRや観光客の誘客策についても積極的に支援する。	【事業名】 地域農産物ブランド化事業 【事業概要】 激化する農産物の産地間競争に対応していくために、地域農産物ブランド化事業や、新たな販売・販路の拡大に意欲的に取り組む事業実施者に対して支援を行う。さらに、ブランド力を活かしたイベント開催や、全国各地のイベントへの参加など、各ブランド品目のPRや観光客の誘客策についても積極的に支援する。	追加 P1-19
		改訂なし	【事業名】 担い手育成事業 (仮称) 【事業概要】 かほく市農産物ブランド6品目などの農産物の持続的な発展や、織維業・鉄工業をはじめとする市の基幹産業の振興を目的に、生産性の向上や産地の継承を促すため、県等の関係機関と連携しながら担い手の確保から育成までの一貫した人材育成の取り組みを行う。	改訂なし
		改訂なし	【事業名】 6次産業化ネットワーク活動事業 【事業概要】 多様な事業者等の連携の下で、消費者等のニーズに即した新たな商品の開発、販路の開拓などを行い、特産品などの地域資源の価値を向上させ、消費者等に提供していく6次産業化等を推進する。また、5G等の情報通信技術やAI、IoT等の未来技術を活用した産業のスマート化などの取り組みを支援する。	

第2期かほく市創生総合戦略推進計画【具体的施策】改訂 新旧対照表

基本目標	基本方針	具体的施策		備考
		新（改訂後）	旧（改訂前）	
2.かほく市に新しいひとの流れをつくる	(1)かほく市とのつながりの構築	<p>【事業名】 観光振興による新しい人の流れの創出</p> <p>【事業概要】 本市の地域交流拠点施設である「道の駅高松」を通して、かほく市の観光スポットや地元特産品(市特産ブランド認証品)の魅力発信することにも、同施設内のイベント広場を活用し、定期的に活気のあるイベントを開催することで、かほく市の北の玄関口として、さらなる誘客を図る。</p> <p>また、ワーケーションを始めとした新しい旅行スタイルやデリバリーサービスなどのニーズを柔軟に取り入れ、石川県及び県観光連盟、河北郡市観光企画委員会や国内旅行会社と連携して、近隣市町を含めた広域的な旅行商品の企画開発を行うほか、道の駅高松においては、将来的に「地域商社」機能の担い手として、市内の特産品を使ったご当地限定のオリジナル商品の開発販売や販路開拓、地域資源を活かした新たなビジネス事業などの展開を図り、市全体への新しいひとの流れを創出する。</p>	<p>【事業名】 観光振興による新しい人の流れの創出</p> <p>【事業概要】 本市の地域交流拠点施設である「道の駅高松」を通して、かほく市の観光スポットや地元特産品(市特産ブランド認証品)の魅力発信することにも、同施設内のイベント広場を活用し、定期的に活気のあるイベントを開催することで、かほく市の北の玄関口として、さらなる誘客を図る。</p> <p>また、石川県及び県観光連盟、河北郡市観光企画委員会や国内旅行会社と連携して、近隣市町を含めた広域的な旅行商品の企画開発を行うほか、道の駅高松においては、将来的に「地域商社」機能の担い手として、市内の特産品を使ったご当地限定のオリジナル商品の開発販売や販路開拓、地域資源を活かした新たなビジネス事業などの展開を図り、市全体への新しいひとの流れを創出する。</p>	追加 P1-22
		改訂なし	<p>【事業名】 ふるさと帰帰による関係人口の創出</p> <p>【事業概要】 関東かほく会や石川県立看護大学同窓会など関連団体への支援を行うほか、関係人口を創出するため、かほく市出身の首都圏在住者の集いの開催についても検討を進め、地域活性化のための各種事業に参画してもらう仕組みを構築する。</p>	
		改訂なし	<p>【事業名】 ふるさと納税寄附金制度の推進</p> <p>【事業概要】 かほく市特産品ブランド商品等をふるさと納税ポータルサイトやパンフレットを通じて広く全国へ発信し、かほく市の知名度向上や特産品のPRを図ることで、かほく市への愛着醸成と、自主財源の確保を図る。</p> <p>また、ふるさと納税制度に関して適正な制度運用を図るため、国の通知に沿って返礼品の拡充等を行い、より親しみのある、使いやすい制度を目指す。</p>	
		改訂なし	<p>【事業名】 企業版ふるさと納税の活用促進</p> <p>【事業概要】 地方創生に資する事業について、企業版ふるさと納税の活用を促進し、新たな資金の流れをつくる。</p> <p>また、総合戦略推進計画に記載されている事業の実施に係る財源の確保に努めることにも、企業とのつながりを強化し、まちづくりへの参画を促す。</p>	

第2期かほく市創生総合戦略推進計画【具体的施策】改訂 新旧対照表

基本目標	基本方針	具体的施策		備考
		新（改訂後）	旧（改訂前）	
2.かほく市に新しいひとの流れをつくる	(2)子育て世代や若者の呼び込みと定着の推進	改訂なし	<p>【事業名】 移住定住及び定着に向けた経済的な支援</p> <p>【事業概要】 本市への移住定住を促進し、定住人口の増加を図るため、新婚さん住まい応援事業、UJJターン住まい補助金、若者マイホーム取得奨励金などの制度を継続して実施するとともに、ニーズや環境の変化に即した制度への見直しを行いながら、より効果的に若者世代の転入の促進と転出の抑制が図られるよう事業を推進する。</p>	追加 P1-24
		<p>【事業名】 シティプロモーションによるPR活動の推進</p> <p>【事業概要】 「子育て支援の充実」と「住宅取得支援」をキーワードに、本市の住み良さをブランディングし、シティプロモーションを行うことで移住・交流を促し、定住人口増加につなげる。 また、本市出身で芸術文化、芸能、スポーツなどの各分野で活躍する方々に本市をPRしてもらうほか、市の事業にも参画してもらうことで本市の知名度向上を図るなど、様々な手法でかほく市の住みよさや定住促進施策等の周知を図る。</p>	<p>【事業名】 シティプロモーションによるPR活動の推進</p> <p>【事業概要】 「子育て支援の充実」と「住宅取得支援」をキーワードに、本市の住み良さをブランディングし、シティプロモーションを行うことで移住・交流を促し、定住人口増加につなげる。 また、本市出身で芸術文化、芸能、スポーツなどの各分野で活躍する方々に本市をPRしてもらうほか、市の事業にも参画してもらうことで本市の知名度向上を図るなど、様々な手法でかほく市の住みよさや定住促進施策等の周知を図る。</p>	
		改訂なし	<p>【事業名】 普通財産の分譲化</p> <p>【事業概要】 売却可能な市有地について、市民ニーズを把握しながら長期的な宅地分譲化計画を策定することにより、市有財産の有効活用を図るとともに、分譲販売することで移住・定住の促進を図る。</p>	

第2期かほく市創生総合戦略推進計画【具体的施策】改訂 新旧対照表

基本目標	基本方針	具体的施策		備考
		新（改訂後）	旧（改訂前）	
3.若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	(1)安心して子育てできるサポート体制の充実	改訂なし	<p>【事業名】 妊産から出産・子育てまで切れ目のない経済的な支援</p> <p>【事業概要】 妊産期から子育て期にわたり、切れ目のない経済的な支援を実施し、若い世代が安心して出産から子育てできる体制の充実を図るため、不妊不育治療費助成や子ども医療費助成などの事業を継続して実施する。</p>	
		改訂なし	<p>【事業名】 親と子どもがともに健やかに成長できる環境づくり</p> <p>【事業概要】 子ども総合センターおひさままでの相談体制の強化を図るとともに、子育てママリフレッシュ事業やヘアレンティンングプログラム講座を通して、親の成長と子どもの健やかな成長を支援する。また、働きながら安心して子育てができるよう延長保育、一時保育などの保育サービスの充実を図るとともに、こども園の整備、学童保育の環境整備、全天候型屋内遊戯施設の整備（谷公園リニキュール）等併せ、子育て環境の充実を図る。</p>	修正・追加 P11-26
		改訂なし	<p>【事業名】 幼児教育の環境整備</p> <p>【事業概要】 幼保から児童までの健やかな成長を支援するため、遊びや運動を通して体幹や心を鍛え豊かにするプロジェクトを推進するとともに、子どもが確かな学力の基礎を身につけることができるよう、こども園・学校・地域が連携を図りながら、幼児教育環境の充実を図る。</p>	
		改訂なし	<p>【事業名】 男女共同参画による調和のとれた子育てと就業環境の構築</p> <p>【事業概要】 出産や子育てを機に離職した女性や、出産後も働きながら子育てしたいという女性の社会進出を支援する。育児ママなど全ての人が、仕事と家庭生活のバランスがとれる多様な働き方を選択できるよう、労働環境の改善のための企業への働きかけや、就業・創業機会の創出を図る。</p>	

第2期かほく市創生総合戦略推進計画【具体的施策】改訂 新旧対照表

基本目標	基本方針	具体的施策		備考
		新（改訂後）	旧（改訂前）	
3.若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	<p>きめ細かな学校教育体制の推進</p> <p>(2) きめ細かな学校教育体制の推進</p>	改訂なし	<p>【事業名】学力調査の実施と小学校全学年での35人以下学級編制の実施</p> <p>【事業概要】国、県で実施する学習状況調査に加え、小学校3年生以上の全学年で学習状況調査を実施する。また、小学校全学年で35人以下学級編制を行い、きめ細かな学習環境のもと「生きる力」の育成を図る。</p>	
		<p>【事業名】多様なニーズに対応した教育機会の提供・支援事業</p> <p>【事業概要】児童生徒一人ひとりの状況に応じた適切な対応ができるよう、特別支援教育支援員や教育相談員などの必要な人材を配置し、支援の必要な児童生徒や不登校及び不登校傾向の児童生徒の増加に対応する。</p> <p>また、児童生徒1人1台端末を整備し、ICT機器を活用した一人ひとりの習熟度に応じた学習を進める。さらに、学校の臨時休業時や病気等の長期欠席、不登校児童生徒にも対応できるオンラインでの学習について取り組む。</p>	<p>【事業名】多様なニーズに対応した教育機会の提供・支援事業</p> <p>【事業概要】児童生徒一人ひとりの状況に応じた適切な対応ができるよう、特別支援教育支援員や教育相談員などの必要な人材を配置し、支援の必要な児童生徒や不登校及び不登校傾向の児童生徒の増加に対応する。</p>	追加 P1-27
		<p>【事業名】学校を核とした地域活力（地域教育力）向上事業</p> <p>【事業概要】子どもたちと地域住民が関わる「学校運営や支援」を媒体として、地域の活力・教育力を高め、地域コミュニティの活性化と学校教育の充実を図る。</p> <p>また、リモートによる授業支援や地域交流などの実施に向けた環境の整備について検討を進める。</p>	<p>【事業名】学校を核とした地域活力（地域教育力）向上事業</p> <p>【事業概要】地域の将来を担う子どもたちと地域住民が関わる「学校運営や支援」を媒体として、地域の活力・教育力を高め、地域コミュニティの活性化と学校教育の充実を図る。</p>	追加 P1-27

第2期かほく市創生総合戦略推進計画【具体的施策】改訂 新旧対照表

基本目標	基本方針	具体的施策		備考
		新（改訂後）	旧（改訂前）	
4.安心して暮らすことができる。魅力あるかほく市をつくる	(1)住みよいまちの創造	改訂なし	<p>【事業名】 国土強靱化地域計画の着実な遂行</p> <p>【事業概要】 近年多発している大きな災害に備え、令和元年度に策定した「かほく市国土強靱化地域計画」に基づき実施される防災・減災等に資する様々な取り組みを着実に実施し、市民が安全安心に暮らすことができるまちづくりを推進する。</p>	
		改訂なし	<p>【事業名】 新技術を活用したまちづくりの推進</p> <p>【事業概要】 AI、IoT、5Gなどの新技術の活用に加え、高齢化社会を見据え、民間事業者と連携したキャッシュレスなどの普及促進を図る。</p>	
		<p>【事業名】 新技術を活用した行政機能の効率化</p> <p>【事業概要】 RPA及びAI等の先進技術導入による定型業務の自動化に取り組み、業務精度や市民サービスを向上させるとともに、働き方改革にもつなげる。</p> <p>また、市税をはじめ、各種手数料・使用料などの支払いへのキャッシュレス決済導入に向けた検討を行い、市民、納税者及び施設利用者等の利便性向上を図る。</p>	<p>【事業名】 新技術を活用した行政機能の効率化</p> <p>【事業概要】 RPA及びAI等の先進技術導入による定型業務の自動化に取り組み、業務精度や市民サービスを向上させるとともに、働き方改革にもつなげる。</p> <p>また、市税をはじめ、各種手数料・使用料などの支払いへのキャッシュレス決済導入に向けた検討を行い、市民、納税者及び施設利用者等の利便性向上を図る。</p>	修正・追加 P1-29
		<p>【事業名】 地域公共交通ネットワークの構築</p> <p>【事業概要】 公営バス（福祉巡回バス、市営バス、スクールバスなど）と民間公共交通（鉄道、バス、タクシード）を一体とした効率化及び利便性の向上を図り、市民の移動手段確保はもとより、市内観光施設等へ向けたルート設定や、他市町との相互乗り入れに係る調整など、市全体としての公共交通システムあり方を検討する。また、MaaS、AI配車によるオンデマンド交通や、非接触型キャッシュレス決済などの新しい生活様式に対応する取り組みについても検討する。</p>	<p>【事業名】 地域公共交通ネットワークの構築</p> <p>【事業概要】 公営バス（福祉巡回バス、市営バス、スクールバスなど）と民間公共交通（鉄道、バス、タクシード）を一体とした効率化及び利便性の向上を図り、市民の移動手段確保はもとより、市内観光施設等へ向けたルート設定や、他市町との相互乗り入れに係る調整など、市全体としての公共交通システムあり方を検討する。</p>	追加 P1-29
改訂なし	改訂なし	<p>【事業名】 石川中央都市圏連携事業の推進</p> <p>【事業概要】 平成28年3月に石川中央都市圏で策定した圏域ビジョンを着実に実行し、高次都市機能の集積・強化と広域活用、圏域の経済成長の促進、圏域全体での生活関連機能サービス向上のための具体的な連携事業の企画立案、推進を行う。</p>		

第2期かほく市創生総合戦略推進計画【具体的施策】改訂 新旧対照表

基本目標	基本方針	具体的施策		備考
		新（改訂後）	旧（改訂前）	
4.安心して暮らすことのできる、魅力あるかほく市をつくる	(2)市民の健康と生きがいの創造	改訂なし	<p>【事業名】市民の健康づくりと「健康なまち」づくり基盤の整備</p> <p>【事業概要】運動不足を解消することにより、生活習慣病やロコモティブシンドローム（運動器症候群）、フレイル（虚弱）の予防を推進し、健康寿命の延伸を図る。</p> <p>「かほくにゃおんWAONカード」を活用し、健康ポイントを付与する「かほく健康ウォーキング事業」、「健康ポイントラリー」をはじめとした健康づくり事業を産官学連携のもと実施するとともに、安全なウォーキングロードの整備など、引き続きなるまちづくりに向けたウォーキング事業を展開する。</p>	
		改訂なし	<p>【事業名】高齢者の生きがいづくり環境の整備</p> <p>【事業概要】高齢者向けの各種講座を開催し、元気な高齢者の活動を支援することにより、元気な高齢者の増加を目指すとともに、スキルを持った高齢者の活躍の場や高齢者の生きがいづくりを推進する。また、各地区にある老人センターの中長期整備計画を策定し、高齢者の生きがいづくりの環境の整備を図る。</p>	
		改訂なし	<p>【事業名】障害者の暮らしの安全と生きがいづくり</p> <p>【事業概要】障害者が地域で自立した生活ができるよう関係団体等との連携強化を図り、包括的なケアシステムを構築する。</p>	

第2期かほく市創生総合戦略推進計画【具体的施策】改訂 新旧対照表

基本目標	基本方針	具体的施策		備考
		新（改訂後）	旧（改訂前）	
4.安心し て暮らす ことか で きる、魅 力ある かほく市 をつくる	(3) スポーツ文化の創造	改訂なし	<p>【事業名】 かほく市総合体育館の整備を核としたスポーツ環境づくり</p> <p>【事業概要】 競技スポーツ・プロスポーツのニーズにも応えることのできる高い機能を有する施設であるとともに、全ての市民がスポーツに様々な形で関わり、交流できる拠点として総合体育館の整備を行い、周辺エリアの賑わい創出事業の展開も併せて検討する。</p> <p>また、市内全体育施設のスポーツ環境の整備・充実に計画的に推進し、利用者への安心安全なスポーツ環境の提供を目指す。</p>	
		改訂なし	<p>【事業名】 する・みる・支えるを通じた「スポーツ関係人口」の創出</p> <p>【事業概要】 地域のスポーツ機会を創出し、スポーツ振興や地域経済の活性化を図るため、「(仮)かほくスポーツコミッション」の設置を検討し、新たなスポーツイベントの開催、誘致等の活動を行い、スポーツ振興及びスポーツを核とした地域活性化の促進を図る。また、トップアスリートを発掘・育成・強化するため、指導者の育成と競技スポーツの強化について体系的かつ戦略的な支援を強化する。</p>	

第2期かほく市創生総合戦略推進計画【具体的施策】改訂 新旧対照表

基本目標	基本方針	具体的施策		備考
		新（改訂後）	旧（改訂前）	
5安心し て暮らす ことか きる。魅 力ある かほく市 をつくる	(1)かほく市の特色を活か した地域の活性化	改訂なし	<p>【事業名】 北部交流ゾーンにおける賑わい創出 【事業概要】 のと里山海道沿いに位置し、かほく市の玄関口として市の情報を発信している道の駅高松において観光情報の発信や特産物の紹介等を行うことにより、かほく市の知名度向上を図るとともに、各種交流事業や体験事業を開催するなど、北部交流ゾーンの賑わい拠点として、事業を展開していく。 また、将来的には「地域商社」として機能強化を図り、地域の特色を生かしたレクリエーション事業の展開や特産品販売などにより賑わいの創出につなげる。</p>	
		改訂なし	<p>【事業名】 南部交流ゾーンの広域商業機能や交流機能の集積・強化 【事業概要】 広域商業機能や交流機能のさらなる集積・強化に向け、うみっくらんど七塚や西田幾多郎記念哲学館との連携も視野に、市民の消費活動の利便性を高めるとともに関係人口の創出につなげる。</p>	
		<p>【事業名】 西田幾多郎記念哲学館の充実による西田哲学の普及・啓発 【事業概要】 リモートやネット等の新しい形態の導入も検討し、全国の大学との連携や研究会の開催、西田幾多郎ゆかりの地等での講演会によるふるさと教育等を通じて、哲学を担う人材・地域を担う人材の育成を図るとともに西田哲学及び哲学館の普及・啓発を図る。 また、収蔵品管理システムの利便性向上を図り、「電子資料館」として広くPRするとともに、タブレット端末を活用した多言語案内・説明・翻訳など、外国人来館者対応の充実を図る。</p>	<p>【事業名】 西田幾多郎記念哲学館の充実による西田哲学の普及・啓発 【事業概要】 全国の大学との連携や研究会の開催、西田幾多郎ゆかりの地等での講演会によるふるさと教育等を通じて、哲学を担う人材・地域を担う人材の育成を図るとともに西田哲学及び哲学館の普及・啓発を図る。 また、収蔵品管理システムの利便性向上を図り、「電子資料館」として広くPRするとともに、外国人来館者等への対応の充実を図る。</p>	修正・追加 P1-33
		<p>【事業名】 地（知）の拠点大学（石川県立看護大学及び県内大学）との連携による地方創生推進事業 【事業概要】 石川県立看護大学や金沢学院大学など県内大学と連携し、健康づくりに関する事業等の展開や市の各種施策への提言及び参画、またそれらを通じた学生への学びの場の提供などを通じ、市と大学との協働によるまちづくり事業を推進する。</p>	<p>【事業名】 地（知）の拠点大学（石川県立看護大学及び県内大学）との連携による地方創生推進事業 【事業概要】 石川県立看護大学や金沢学院大学など県内大学と連携し、健康づくりに関する事業等の展開や市の各種施策への提言及び参画、またそれらを通じた学生への学びの場の提供などを通じ、市と大学との協働によるまちづくり事業を推進する。</p>	削除 P1-33